

## 8. 外構計画

建設予定地の地形、地質、周辺環境との調和を考慮した合理的な施設とし、施工及び維持管理の容易さ、経済性を十分に考慮して設計する。

### 1) 構内道路

- (1) 構内道路については、基本的に「道路構造令」に準拠して計画する。
- (2) 車道幅員は車両仕様を十分に勘案し、走行・メンテナンス等、安全かつ円滑となるよう計画する。
- (3) 第1期焼却施設東側の構内道路脇には施設来場者が通行可能な歩道を設置する。また、歩道の設置にあたり、階段、手摺、フェンス等の必要な設備を設置する。
- (4) 舗装は環境に十分配慮した舗装仕様とし、構成については「舗装設計施工指針」に準拠する。
- (5) 十分な強度と耐久性を持つ構造とし、必要な箇所に標識、路面表示、カーブミラー、側溝、縁石等を適切に設置する。

### 2) 駐車場

運転員、見学者及び来客者用の駐車場を確保する。

- (1) 形式はアスファルト舗装とする。
- (2) 車止めの設置、白ラインを表示する。また、適宜植栽帯を設ける。
- (3) 見学者及び来客者用駐車場は、大型バス用4台分と普通車用20台以上、車いす用1台分以上とする。運転員用駐車場は20台分以上とする。

### 3) 構内排水設備

建設予定地内に、関連法令に準拠した適切な雨水排水設備を設ける。位置、寸法、勾配、耐圧に注意し、漏水のない計画とする。

雨水は、必要に応じて再利用するための貯留槽を設置し、雨水の再利用を計画する。なお、余剰雨水は雨水調整池に貯留し、公共用水域に放流する。

### 4) 植栽

- (1) 場内緑化は、特に敷地周辺の環境整備に重点を置いた計画とする。
- (2) 場内の空き地は、できるだけ緑化に努める。
- (3) 緑化に用いる樹種は、郷土樹種を中心に高木、中木、低木、地被類等をバランスよく植栽し、維持管理の容易な樹種を選定する。
- (4) 植栽の維持管理のために、必要な各所に散水栓を設置して、貯留雨水等を散水できるようにする。

### 5) 門囲障

- (1) 意匠に配慮した門とし、引込み仕様の門扉を設置する。また、門には施設名が分かる銘板を設置する。
- (2) 建設予定地周囲にフェンスを設置する。

6) サイン

本施設に来場した搬入者及び見学者等が、安全かつスムーズに目的の場所へ行けるよう、建設予定地内に案内表示板等を設置する。

7) 外灯

建設予定地内の必要箇所に屋外灯を設置する。